

蓮田市人権教育・啓発DVD一覧表

◆ DVD

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
1	大地の母 きくゑ	部落差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いてきたきくゑの姿を描く。生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会に役立つこととなる。80歳を過ぎた今でも、きくゑの地域交流活動はとどまることを知らない。	32分	2005	部落差別
2	エールを贈るバス	直子(11歳)の母は、障害のある少女智香(8歳)の心を傷つけてしまう。直子はすぐに母の過ちに気づき、母と一緒に智香の所へ謝りに行く。勇気を出して謝ったことで直子と智香の友情が芽生え、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合うことの大切さを学ぶ。	29分	2005	障がい者
3	夕映えのみち	インターネットは、「人と人」「人と情報」をつないで豊かな社会を作る“文明の利器”でもある。ところがその半面、使い方を一歩間違えると、「人と人」のきずなを断つ凶器に変わってしまう。もし、わが子がインターネットを使って他の人の人権を侵害したら、逆にわが子がその被害者になり「いじめ」に遭ったら、「あなたなら、どうしますか?」と問いかけてくる。インターネット社会で、「どう生きるか」「人とどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直していく。	38分	2006	全般
4	あの空の向こうに	私たちが普段何気なく使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう。ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、だれの身に起きても不思議ではない深刻な問題である。文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」である。本当の意味での心のつながりとはどういうことか改めて見つめ直し、お互いに「思い」を交わし、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気づく。	38分	2009	インターネット
5	クリームパン	昨今、あまりにも軽く「いのち」が扱われている。「いのち」の尊さを、子どもも若者も、もしかしたら大人も気づいていないのかもしれない。「いのち」とは温かく、ずっしりと重いもの。一度失われたら二度と再生しないもの。人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に、虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを救うのもまた「人」である。人と人がふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあることを訴る。	36分	2010	子ども
6	探梅(たんばい) 春、遠からじ <アニメ>	人は誰しも心の中に四季を持っています。家族や地域から孤立したり、支援や見守りが必要な人は、「心の冬」を感じているかもしれません。冷たく閉ざされた心に、春を感じさせる風を吹き込むのは「人」の温もりです。この作品では、それぞれの事情や過去を抱えた登場人物の交流を描きながら、お互いが支え合い、温かく見守りあう地域社会の大切さを語りかけていきます。	40分	2011	全般
7	桃香の自由帳	核家族化や都市化が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなっている。同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除したりするなど、気づかぬうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがある。ここでは、どの地域でも起こりうることに光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、見失いつつある人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かを語りかける。	36分	2011	全般

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
8	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	私たちは、だれもが健康・幸福で生きがいのある生活をしたいと願っていると思います。そのためには、みんなが身近なところに存在する様々な人権を理解して人の尊厳を考え、お互いの立場を尊重して、日々の生活を過ごさなければいけません。ある家族の姿を描くことによって、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めると共に、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうことを目的に制作されました。	19分	2012	全般
9	ほんとの空	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これらに共通する根っこ部分は、誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」である。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解している。その一方で、自分や身近な人に関わる出来事には敏感に反応するが、それ以外のことは他人事のように感じたりする。また、自分や家族の生活を守るために、あるいは誤解や偏見に気づかず、他者を排除したり傷つけたりしがちである。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることとしてとらえ、日常の行動につなげていくようにと訴える。	36分	2012	全般
10	ヒーロー	近年、社会から孤立する人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっている。家族や地域、職場でのつながり、つまりは血縁や地縁、社縁の希薄化によって引き起こされる問題である。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起する。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考える。	34分	2013	全般
11	あなたに伝えたいこと	同和問題は、地域改善対策の結果、生活環境などハード面の改善は進んだが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されている。また、インターネットには、利便性ととも、差別的な書き込みやネット依存など陰の部分もある。この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから、同和問題が身近な問題であることを知る。ネット上の情報に左右されることなく人とふれあい、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝える。	36分	2014	部落差別
12	imagination(イマジネーション) 想う つながる 一歩ふみだす	ラジオ局で番組パーソナリティを務めるサヤカの元には、今夜もリスナーからの相談の便りが届く。現代社会に悩む様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材。	34分	2014	全般
13	ココロ屋 <アニメ>	「ココロ」とは何でしょう？これは私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い続けることが、私たちの人生のテーマの一つでもあります。「ココロ屋」は、この謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーションです。	25分	2014	子ども

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
14	秋桜(コスモス)の咲く日	特別養護老人ホーム「向陽園」の主任介護士として働く大谷ちひろは、新しく入った介護士中嶋直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、指示が伝わらなかったり、コミュニケーションが取りづらい。ちひろはストレスを感じながらも、直也を育てるべく奮闘する。そんな中、直也が入居者の元大学教授、乾一成を連れて外出したところ、金山川で乾が倒れて意識不明になってしまう。知らせを受けて病院に駆けつけたちひろは、パニックを起こした直也に、介護士失格だと激しく叱責する。翌日から直也は欠勤。直也の母が退職願を持って「向陽園」を訪れ、直也がアスペルガー症候群であることを告白する。いったん退職願を受理したものの、ちひろは直也をこのまま辞めさせていいものか悩む。そして、ちひろは直也が乾を金山川に連れていった理由を聞くため、入院中の乾を訪ねたのであった…。	34分	2014	障がい者
15	悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル	いじめなんて自分には関係ないと思っていた、中学1年生の幸子。しかしある日、バレー部の同学年の仲間からいじめを受け始める。理由がわからず、戸惑い、悩み続ける幸子だが、級友や両親に、すぐに相談することはできなかった。ある日、幸子は、部室で一人で勉強していると、いじめグループに部室の扉を紐で縛られてしまった。そして授業開始のチャイムが鳴り、急いで部屋を出ようとするが…。授業妨害を受けた幸子は、自分で解決する手立てを失ってしまう。エスカレートするいじめに幸子は、学校の屋上で「いっそ死んでしまえば」と思うが、「もしここで、私が飛び降りれば、悲しむのは母や父…。」と思い留まるのだった。そんな中、幸子は意を決して、いじめの事実を周りに打ち明け始めた。そうすることで、徐々に状況は変わっていった。そして幸子は、いじめの裏に隠された、ある事実を知るのだった…。	33分	2014	子ども
16	光射す空へ <アニメ>	同和対策審議会答申が出されて50年。その間、国や地方自治体等で様々な取り組みが行われ、同和地区出身の生活環境は大きく改善されました。しかし、同和地区・被差別部落と呼ばれる地区の出身者や住民に対する差別は形を変えて根強く残っています。また、まだ十分に認識されていない人権課題として、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。この映画では、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちとともに、誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えていただければ幸いです。	32分	2016	部落差別
17	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	東京下町の路地裏に和カフェがオープンするところから物語は始まる。この作品では「インターネットによる人権侵害-三色団子の向こう側-」「高齢者の人権-世代をつなぐ柏餅-」「外国人の人権-コンペイトウの来た道-」の三つのエピソードをドラマや解説・インタビューなどで紹介している。この三つのエピソードを通して、自分も相手も大切にすることができる、自分なりの「ココロまじわる ヨリドコロ」をつくりながら、自分には何ができるのかを考えるための教材となっている。	35分	2016	全般
18	その人権問題わたしならどうする？ 家庭編	人間が人間らしく生きる権利、人権。それが侵害される場面が、私たちの生活の中に存在しています。たとえ人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難な場面があります。この作品は、さまざまな人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどうかを考える、視聴者参加型の人権学習映像集です。	19分	2015	全般

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
19	部落の心を伝えたいシリーズ 第27巻 出会いから学ぶ ～しなやかな新世代・高田美樹～	人は人との関わりなくして生きることはできない。マイナスの出会い、プラスの出会い、…そして、出会いが人を変え人生を豊かに作り上げていく。高田美樹(29)、高校での生涯の仲間との出会い…母方の祖父との18年目の出会い直し…働く現場で実体験した様々な差別…それらを全て養分に転換し、しなやかに生きる。暗・重・辛を明・軽・楽に変える新世代の誕生。	29分	2015	部落差別
20	あした咲く	女性が輝く社会の実現に向けて、平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめ、これまで様々な取り組みが進められてきました。しかし、現状は、職場や地域における女性の能力発揮のための環境整備や意識改革は必ずしも十分ではありません。また、ドメスティック・バイオレンスやハラスメントなどの女性に対する人権侵害も生じています。 この作品は、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えている生き方の異なる姉妹が登場し、姉妹の対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づき、自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろんすべての人が輝ける社会の実現をめざす内容となっています。	36分	2017	女性
21	ねずみくんのきもち <アニメ>	いじめやコンプレックスなど大切なテーマをねずみくんと一緒に学べる楽しいアニメーション。一人一人が大切な存在であること、共に生きていることを感じられることを願って制作しました。	12分	2008	子ども
22	君が、いるから	母親からの心理的虐待に悩む主人公がコンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに、出会う人々とのふれあいを通じて新たな価値観に気づき、ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを主人公の成長を通して描かれています。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざすきっかけとなるドラマ。	33分	2018	子ども
23	わからないから、確かめ合う ーコミュニケーションー	昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、不当な差別など、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。そのため、企業の社会的責任(CSR)や社会的責任投資(SRI)に対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に採り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。 今作「わからないから、確かめ合う」では、ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。	29分	2018	全般
24	Voice!!! (ボイス) 人権の教室	舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手がかりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。 ○1時間目 オリンピック・パラリンピックと人権-声援-2020年に向けて ○2時間目 北朝鮮による拉致問題-発信- ○3時間目 子供の人権(いじめ問題)-歌声-	38分	2017	子ども
25	ひとと皮革(かわ)の歴史	動物の命を奪うことを残酷とする考え、そこから部落差別が生まれた。 「死は穢れている」という差別につながる考えさえも、ほかならぬニカワでできた墨の文字や絵の助けを借りて、社会へ広がっていった。皮革製品の製造過程を取材した貴重な映像を通して、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えさせる。	19分	2020	部落差別

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
26	知りたいあなたのこと	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいる。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるという。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材した。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく。	21分	2019	障がい者
27	パパは女子高生だった！	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。	28分	2019	性的指向・性自認
28	今そこにいる人としっかり出会うー同和問題ー	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるという理不尽な差別といえます。いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起っています。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品です。	24分	2020	部落差別
29	くうとしのーあなたがそばにいただけー	認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができるでしょうか。年も性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子供たちが自然と考える事ができる、心がほっこりとする物語です。	12分	2020	子ども
30	シェアしてみたらわかったこと	上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど、時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある。私が、シェアしてみたらわかったこと。	46分	2019	全般
31	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ②当事者に寄り添うために	教育現場にLGBTsの児童生徒は一定数存在しているにも関わらず、実際にその当事者と対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くはあ、誰にも話すことができずにいる場合が圧倒的に多く、葛藤や苦悩を抱えていることも少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。この巻ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く日当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介します。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	38分	2020	性的指向・性自認
32	私たち一人ひとりができること ～当事者意識をもって考えるコロナ差別～	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染への不安から、感染した方への誹謗・中傷や、特定の職業につく人々への不当な差別などの、いわゆる「コロナ差別」が問題となっており、各自治体でコロナ差別解消に向けた様々な取り組みがおこなわれています。本作品は、「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。	26分	2021	感染症

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
33	小さな歩みを見つけよう ～職場の人権 気づきポイント集～	このドラマの中では、人権啓発室のメンバーが社内外の取材をもとに8つの再現ドラマを作り、社内特設サイトで公開。社内のチャットツールを通して集まった感想コメントを受けて、多様な人権への気づきを探していきます。職場での働き方がますます多様になってきている今、“仲間とともに自分らしく働く”ために、この教材がヒントになれば幸いです。	24分	2021	全般
34	わたしと人権 第1巻	私たちの周りには、さまざまな人権問題があります。そして私たちは誰もが人権問題の被害者にも、加害者にも傍観者にもなる可能性があります。人権問題に直面したとき、自分ならどうするか？さまざまな事例を通して、考えてみましょう。	26分	2021	全般
35	シリーズ映像でみる人権の歴史 第9巻 芸能と差別 -文化を生み育てた人々-	日本の伝統的な芸能である能や狂言、歌舞伎、文楽、舞踊、漫才、落語、講談、獅子舞、猿回し、曲芸などなど…。それらはいったいどのようにして生み出され、今に伝わってきたのでしょうか。 室町時代から江戸後期に至るまでの「能」「歌舞伎」「人形浄瑠璃」などを取り上げつつ、現代にも伝わる徳島県の「門付け芸」や富山県の「おわら風の盆」などを実際に取材し、消えかかった芸能を保存・継承してきた方々へのインタビューを取り入れ、いかに芸能が差別を乗り越えて支援した民衆によって支えられ発展し、現在まで継承されているかを学ぶ教材です。	20分	2022	部落差別
36	君は、ひとりじゃない ～SOSの出し方、知っていますか～	小学校中・高学年の児童向けの「SOSの出し方」について学習できる教材です。 ■悩みや不安はどうやって生まれる？(自分ではうまくやつたつもりなのに、失敗して叱られたケース) ■悩み続けるとどうなる？(心が傷ついてしまう/悩みは普段の生活からも生まれる) ■再現ドラマで学ぶ 悩みの解決方法(保健室の先生へ相談した事例/3人目の大人へ相談した事例) ■友達が悩んでいるときは？(アドバイスはしないで、まずは黙って聞いてあげよう) ■地域の大人に相談する(地域の大人に話してみる/電話や SNSの 相談サービスもある)	18分	2022	子ども
37	LGBTsと社会 ④地域社会～ありのまままで過ごせるコミュニティ～	地域社会においては、男女の役割規範やその価値観が根強く残っていることも多く、「まだ結婚しないの?」といった一見したところ何気ない一言がLGBTsの人々を傷つけてしまうこともあります。本巻では、トランスジェンダーの登場人物を中心に誰もが地域社会の一員として、居心地よく過ごすことができるための様々な地域の取り組みの工夫を描きます。「自分の暮らす街にLGBTsの 人はいない」と考えがちな地域の中において、無意識の差別をしていないかを考えさせるドラマです。	22分	2021	性的指向・性自認
38	めぐみへの誓い ※日本語字幕版・英語字幕版 2種あり	この映画は13歳で北朝鮮に拉致された横田めぐみさんを中心に、多くの日本人拉致被害者、特定失踪者、そしてそのご家族の苦悩と愛の戦いを描く劇映画作品です。映画の舞台は日本及び北朝鮮。拉致されためぐみさんたちのその後、北朝鮮での過酷な生活を描きます。拉致は単に昔あった誘拐事件ではなく、現在進行形の過酷な監禁事件でもあることも描き、人間の尊厳とは何か？家族の絆とは何かを問う感動のエンターテインメント作品です。	102分	2020	北朝鮮当局による拉致問題

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
39	破戒	瀬川丑松は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性・志保との恋に心を焦がしていた。同僚教師・銀之助の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始める。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎に傾倒していく。	119分	2022	部落差別
40	母のさがしもの	認知症は人によって症状も様々です。この教材は、ある家族の視点を通じて、症例を織り交ぜながら認知症に関する理解を深め、認知症の人の不安や家族の悩みを知り、本人や家族の孤立を防ぐために介護者や地域の交流の重要性を示すと同時に、本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶドラマ形式の映像教材です。	32分	2024	認知症
41	見上げれば	大学入学後ひきこもる主人公・陽人。母・園子が相談に訪れたNPOで再会した中学の同級生・樹との接触を通じて、心を開き始める陽人。しかし誤解や過去の辛い記憶から再び閉ざしてしまう。樹が自身のひきこもり経験を打ち明け、正直な思いを陽人に伝えたことで揺れ動く陽人の心と、「つながり」の物語。	34分	2025	引きこもり
42	職場の力を育む人権シリーズ ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う	職場には多様な価値観や背景を持つ従業員が集い、そこには様々な人権課題が存在しています。本教材では「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「こころの病気」「部落差別」などをテーマに、互いの状況や抱える想いに目を向けること、そして気づいた違和感(=ハテナ)を伝えあうことの大切さを示します。	32分	2024	全般

蓮田市人権教育・啓発ビデオ一覧表

◆ VHSビデオ

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
1	今、光っていたい	陽子は両親の離婚によって家事や認知症の祖母の世話に追われ、ささくれだった心で過ごしていたが、「1日1生涯」という言葉に触れ、家族や自分を見つめなおしていく。	48分	2000	高齢者
2	希望の春	進学を断念して遊びまわる伸一と、難病を抱えながら希望を失わない隆志との友情と、二人を支える教師、真弓が気づかないうちに差別していたという心の気づきを描く。	54分	2000	子ども
3	はげ <アニメ>	小学1年生の泉は病気ではげていることをからかわれつらい気持ちになるが、教師の励ましや、からかわれても泣かない同級生の姿を見て自分も頑張ることを決心する。	16分	2000	子ども
4	心のメガネ曇ってませんか？	偏見や差別を生む勘違いや思い込みが、どのように作られていくのかを日常に見られる事例で照会し、どうすれば無くなるのかを問い掛ける。	20分	2000	全般
5	セピア色の風景	父が交通事故にあった時、1枚の古い写真を見つけた淳は、父が同和地区の出身であることを聞き、過去を知るため写真の風景へ向けて旅立つ。そこで差別の厳しさと父の苦悩を知り、昔から言われているからと信じ込んでいることが間違いだと気付く。	55分	2000	同和問題
6	らくがき	駅のトイレに「ドウワルナ」の落書きを見つけた明男たちは一緒のバスに乗った人達に差別落書きは許せないと熱心に語る。差別について話し合ううちに無関心ではいけないことを皆が気付く姿を描く。	35分	1999	同和問題
7	メール	インターネットの掲示板に同和地区出身と書き込まれ、落ち込む礼子が差別を許さない周囲の励ましによって立ち直る姿を描く。	54分	2001	同和問題
8	夢、空高く <アニメ>	自治会の凧揚げ大会の準備を通じて、親と子供の自立、障害者・同和地区出身者の社会参加を描く。	41分	2001	全般
9	素顔の心で	調査会社に努める一平は、仕事や娘の結婚で部落差別に直面し、周りの人に支えられてながら予断と偏見を解き放とうとする。	53分	2000	同和問題
10	夢の箱	結婚を期に日本で暮らすタイ人女性と家族を中心に、一人一人が互いの文化や週間を認め合い理解することの大切さを描く。	50分	2001	外国人
11	いのち輝くとき	父親の虐待によって心を閉ざしてしまった昇が地域の人々によって癒され、いっしょに種をまき育てることで家族の絆を取り戻していく姿を描く。	30分	2001	子ども
12	ひかり	「部落は怖い」と思い込んでいた光平は被差別部落を訪れることで、差別に苦しむ実態を知り、思い込みは差別と結びついていることに気付く。	50分	2001	同和問題
13	元気をありがとう	差別や偏見が増幅されるような現実を見つめ、人の痛みがわかる心をもち、連帯感をも育てていく社会でありたいことを語っている。	53分	2002	全般
14	残された日記	娘(朋子)が筆筒にあった母(佐代子)の日記を見つけた。父(英一)は戸惑いながらもその日記を開けると、いつも控えめで従順だった妻が日記の中では自由に生き、自分を表現している。そして、本間みつ枝という人物が妻に強い影響を与えている事と、慎吾なる人物が書いた詩の作曲を自分に依頼している事を知る。英一は、彼女がみつ枝と出会った文絵教室へと向かう。そこでみつ枝と出会い、生前の妻の話を聞く。その翌週、英一はみつ枝の家を尋ねる。みつ枝はここが同和地区だと言い差別を受けてきた事を語る。そんなみつ枝を前に英一はこの問題を避けていた自分を恥じる。	56分	2001	全般

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
15	こころの交響曲(シンフォニー) <アニメ>	家庭や身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・いのちの尊さ」、「自他共により良く生きていくために何が必要か」、「家族のあり方」などを考える。	43分	2002	全般
16	同級生	30年前、部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士の家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いていく。	30分	2002	同和問題
17	夢の約束	同和地区出身のために就職できず悩んでいる青年が、太鼓を通じて周囲の人々と心をついにし、父との「夢の約束」を果たしていく感動の作品。	53分	2003	同和問題
18	父さんが泣いた日 子どもたちのホント、親たちのホント	小学生の健一は篤志の友人だ。母親同士も父親同士も子どもを通じて仲良くなったが、やがてこのつきあいに大きな亀裂が入ることになる。子どものいじめから親同士の信頼関係も壊れてしまう。人権を身近な問題として考えてもらいます。	28分	2002	子ども
19	風の旅人 <アニメ>	主人公は、生まれつき骨形成不全症という重度の障害を持つため孤立しがちであったが、ある出来事を契機に人と交流し、人の力を借りることで自らの可能性が広がることを知る。以来、ベッド式車椅子を通りがかりの人に押ししてもらい少しずつ進み、また次の人に押しもらって旅をするようになる。 「一回でも出会った人はオレの友達やと考えるねん。友達を増やすってことは出会っていくことなんや。だから目的地までお送りしましょうという人をオレは断るんや。その方が多くの人に会えるやろ。」故・宇都宮辰範氏の感動的な実話を基に、重度障害者の自立と人と人との心の交流を描いたアニメーション。	30分	2003	障がい者
20	陽だまりの家 <アニメ>	ある一人の女性とその娘が、いろいろな出会いをとおして成長していく姿を描く。「命の尊さ」「高齢者の介護」「男女共同参画社会」「世代間の交流」等の視点から人権問題を考えるアニメーション。	42分	2003	全般
21	ラブレター	「ありのままの自分を受けとめてください。私もありのままのあなたを受けとめるから」という自分にあてたラブレター。識学学級に学ぶ女性との交流をとおして、いじめにあい自尊感情を傷つけられた一人の少女が成長する姿を描き、人権問題への理解を訴える作品。	54分	2003	子ども
22	ぬくもりの彩(いろ)	脳梗塞の後遺症で身体が不自由になった高齢者と、同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけにして人を思いやるこころの「ぬくもり」を取り戻してゆくドラマ。	36分	2003	障がい者
23	善良な人々	どこにもある家族の日常を、異なる観点から三話のオムニバス形式で描く。そこには、平凡でありながら、多くの社会的呪縛の中で生きる姿がある。「その呪縛によって差別が生まれるなら・・・」と、どこにもある善良を疑うことから始め、映画の問題提起としている。	56分	2003	全般
24	生きてます、15歳。 <アニメ>	未熟児網膜症のため幼くして失明した主人公が、母との心の交流や自分自身の成長を描いた著書『生きてます、15歳。-500gで生まれた全盲の女の子-』を映画化。母の甘やかす愛情ではなく、真正面から子どもと向き合う姿は、親と子のあり方を問い直す。また、主人公に共感し生活を疑似体験することで、障害者の立場になって障害者問題を考える。	22分	2002	障がい者
25	よーいドン! <アニメ>	この作品は、子どもたちが友だちの違いを理解し、その違いを排除するのではなく受容していく「共生」の素晴らしさと、その根底にある人間の尊厳を描くことをねらいとしています。また、最近の子どもたちの「忍耐力の欠如」や「人の痛みを感じない」等の問題点にも焦点を当てるために団体スポーツ競技を題材とし、正しい競争とは何か・・・考えさせられる作品です。	18分	2003	子ども
26	ハッピーバースデー 命かがやく瞬間(とき) <アニメ>	生きていてよかった。あすか12歳 親の虐待から声を失った少女「あすか」が立ち直った。	80分	1999	子ども

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
27	仮免許 練習中	私たちは、日々の生活の中で不平不満を抱え、展望の持てない未来への不安に苛立ち、自分自身の誇りを見失うことがあります。そうした時、往々にして自分と他人を比べ、弱い者を否定し、自分が優位にたっている錯覚を得ようとするものではないでしょうか。この作品では、息子の交通事故をきっかけに自尊感情を失った親子が、自らの「誇り」を取り戻す過程を描いています。そして、その過程の中で、考え、悩み、変容していく姿を通して人権意識を高め、視聴者の生きる活力を呼び起こします。	30分	2004	全般
28	人権の扉をひらく 気づいていますか？身近な人権	ミニドラマとナレーションで構成されています。人権を身近に感じてもらうために、生活の中で出会う幅広い人権のテーマを取り上げています。ドラマの主人公は共働きの夫婦、お互い対等な関係でありたいというのが二人のモットーです。二人の身近に起こる様々な事例を通して人権について考えていきます。セールスポイントとして、登場人物には言い分コーナーがあります。ここでは、日頃われわれが思っている本音の部分が現れます。模範解答はあえて出していません。視聴者に考えてもらいたいからです。それぞれのテーマでディスカッションが可能なように構成しています。	25分	2004	全般
29	ソーテ サワサワ ～人間の価値はみな同じ～	「ジャンボー。私は小林フィディアです。タンザニアから参りました。」 強く輝く太陽に育まれた、陽気で明るい性格のフィディアさん。青年海外協力隊員だった一成さんと出会い、結婚。長野県の三水村(現、飯縄町)で暮らし始めて7年。一緒に生活する中で受け入れていった人々と、外国人とゆうだけでフィディアさんを排除した人々。 「シーシー、ソーテサワサワ(私たちみな同じ。みな一緒。)」 フィディアさんは私たち日本人へ、そしてこの世界の全ての人々へ願いを込めてそう語ります。タンザニア出身の小林フィディアさんは、言葉も文化も異なる日本(長野県三水村)で夫の一成さんと暮らしています。外国人排除に対して「シーシー・ソーテ・サワサワ(私たちみな同じ。みないっしょ。)」という願いを込めて語っています。在住外国人に対する日本人社会の差別意識について考えさせられます。一般向け。	34分	2005	外国人
30	ひびけ！和だいこ <アニメ>	学習発表会のために和太鼓演奏を希望した美雪たちのグループは、公民館で張り切って練習していた。ところが、啓吾は、リズム感がつかめず上達が遅いため、チームの練習から多数決で、はずされてしまう。啓吾はただ黙って一人で練習を続けていた。そんな時、子供たちは一方に練習の中止を言い渡される。しかし、担任の宮本先生から子供にも意見表明権があることを教えられ、子供たちは勇気を持って地域の大人たちと話し合うことにする。大人が決めたことを聞かないのは、子供のわがままだと言う。そのとき、三木という子供が、自分たちこそ啓吾から太鼓を取り上げて、仲間はずれにしていたことに気づき、啓吾に謝る。このことをきっかけに大人と子供の間に心の交流が生まれていく。	22分	2004	子ども
31	私の好きなまち	主人公は東京から引っ越してきた家族。22年ぶりに故郷に戻った父と東京生まれの母親。そこに、根っからの地元の人間である祖母や父の幼馴染が加わって『異文化&多世代』の対立や交流が生まれます。この作品は、誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、「それぞれの違いを認め合い、ともに生きる」「相手を思いやる」「夢をもって生きる」ことの大切さを訴えます。	35分	2006	全般
32	心のキャッチボール <アニメ>	若井千夏は、中学校の野球部員。部員が二人だけになり、廃部の危機をむかえてしまう。大好きな野球を続けたい千夏は、小学生の時剛速球選手だったが問題を起こして以来野球に背を向けてしまっている文也を誘う…。家庭や学校をはじめとする社会とのつながりの中で、「現実」や「夢」とどのように向き合っていけばよいのかに戸惑う中学生の姿が、部活動の場を舞台として描かれている作品。	23分	2005	子ども

No.	タイトル	内 容	時間	制作年	種 別
33	壁のないまち	交通事故のため車いすによる生活となった主人公が、日常生活を不自由に感じながら、やがて自身の「こころの壁」を乗り越えていく。障害者をテーマに、バリアフリー社会の実現を問いかけるドラマ。	35分	2005	障がい者
34	人権入門	ある男性の一日追い、その一日の出来事の中で、「相手の立場で考える」など“人権を考える10のチェックポイント”を用意し、日常の中の身近な人権を改めて考えていく。こうしたチェックポイントを積み重ね、いろいろな角度から日常のなかの人権へ切り込んでいく。	23分	2005	全般
35	人権と向きあう 一違いを認めあうために	違いと言う言葉をキーワードにして、作品を展開します。「障害がある人」「外国人」「ハンセン病」「部落問題」について、当事者の言葉で観る人の心に訴えかけます。差別の現実には深く学び、当事者の声に耳を傾け、違いを個性と考え、人権の視点から「違っていいんだよ、そのままでもいいんだよ」と認め、互いに尊重する社会、職業を目指してこのビデオは創られました。	28分	2006	全般
36	旅立ちの日に <アニメ>	この映画は、あるウェディングコーディネーターが、手作りの結婚式の企画に携わる過程で、登場するそれぞれの人の力で家族の問題や世間体の問題などを解決し、自分の心にある見えない障壁を壊し、「心のバリアフリー」を形成していく様子を描いています。	40分	2005	障がい者
37	今日もよか天気たい	この物語は、視覚障がいのある一人の女性“京子”を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていくストーリー展開になっています。ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や京子のとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づいていきます。さらに、多くの人から支えられてきた京子自身もまた人の役に立つことで生き甲斐を見つけっていきます。	35分	2007	障がい者
38	ありったけの勇氣	子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っているが「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめる側に回ったり、見て見ないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝えます。	27分	2007	子ども
39	ひとみ輝くとき	本作品は、子どもの世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・地域社会が協力しあって支えていく社会の形成ができることを願い、研修・学習ビデオとして制作いたしました。また、子ども達が本ビデオを観賞して「いじめの構造」を知ったとき、自分はどの位置にいるのかを判断し、皆で考え話し合いのできる作品としています。	35分	2008	子ども
40	親愛なる、あなたへ	現在、都市化や核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。近隣同士であっても互いに無関心、無理解でいることにより、さまざまな人権問題が起きています。本来、地域の主人公はそこに暮らすすべての人々であるはずですが、このドラマでは、定年退職を迎える一人の人間の気づきと再生を中心に描いています。まず身近な人や出来事に関心をもつことが人権尊重の第一歩であることに気づき、地域を見つめ直す契機としていただきたい。	37分	2009	全般
41	声を聞かせて <アニメ>	携帯電話は、もはや単なる「電話機」ではありません。メールやインターネットなど、さまざまな機能を持つようになり、大人をも含めて、「ケータイがない不安」なケータイ依存までもつくり出しています。このケータイを子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実に向き合っていけばいいのか、一緒に考えてみませんか。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げています。	40分	2009	インターネット
42	ボクとガク あの夏のものごと <アニメ>	2人の子どもと近所のおばさんとの交流を描きながら、子どもの人権と地域で育む人権文化に目を向け、また、戦争と平和についても描いている。	42分	2010	子ども